

SDGs 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



様々な形で生み出され、私たちの生活を支え豊かにしてくれるエネルギー。しかし世界には電力を使えない人が約 7 億 8900 万人もいます。この目標では、2030 年までに地球にやさしいエネルギーを、手ごろな価格で安定的に世界中の人々に供給することを目指しています。

※参照 [The Sustainable Development Goals Report 2020 Goal 7](#)

1

クリーンなエネルギーで目指せ！脱炭素社会！

脱炭素社会とは、地球温暖化の原因となる CO₂ などの温室効果ガス排出量の実質ゼロを実現する社会を指します。日本では、菅首相が所信表明演説において「2050年までに脱炭素化社会の実現を目指す」と宣言し、現在年間で12億トン以上ある温室効果ガスの排出量をゼロにすべく脱炭素の促進活動が行われています。この政策では個人から国家規模まで日本全体での取組みが重要になっています。 ※参照:[環境省脱炭素ポータル](#)



2

再生可能エネルギーのいろいろ

脱炭素のために重要になるのが再生可能エネルギーです。なじみのある太陽光発電や風力発電の他に雪氷熱利用や温度差熱利用があります。雪氷熱利用とは、降雪量の多い地域で大量の雪を保管し、気温の高い時期に冷房の代わりにその冷気を利用する方法です。温度差熱利用とは、夏場は水温の方が低く、冬場は水温の方が高いことを利用して河川水、下水などの水源の持つ熱を、ヒートポンプ(空気を集め、くみ上げて移動させる装置)を用いて利用する方法です。しかし、これらは地域や装置の制限があるため、日常的に活用することは難しいのが現状です。

※参照 [資源エネルギー庁](#)



3

実は身近な再生可能エネルギー!?

バイオディーゼル燃料という再生可能エネルギーを知っているでしょうか？バイオディーゼル燃料とは、使用済みてんぱら油や期限切れ油を原料として作られる燃料のことです。燃焼時に発生する二酸化炭素は油の原料となる植物の光合成に使われるため、二酸化炭素の排出量を抑えることが可能です。千葉市では、これらの廃食油を回収し、一部のごみ収集車の燃料に使用しています。皆さんも回収に協力して再生可能エネルギーの生産に貢献してみませんか？ ※参照: [千葉市公式ホームページ](#)



あとがき

SDGs の目標は2030年までの達成を目指しています。それを実現するためには交通手段を工夫することや、市や県で行われている取り組みに積極的に参加することなど、身近なところから始めることが重要だと分かりました。

千葉大学環境 ISO 学生委員会 近藤伸 相樂しおり 谷岡真衣 富田唯翔 幡谷未歩